医療・健康ニーズに応えて、
人々の健康・福祉にいっそう貢献したい。

患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。

持田製薬株式会社
MOCHIDA
http://www.mochida.co.jp/

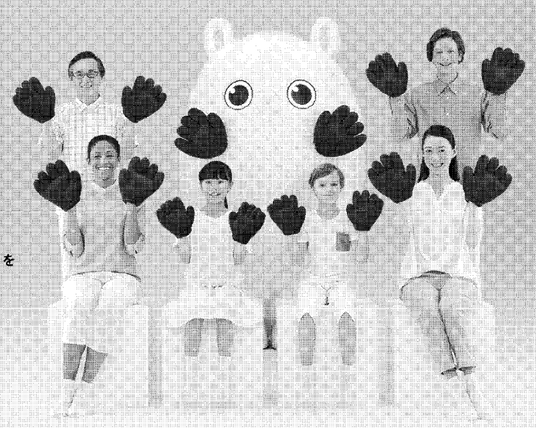
KAITEKI Value for Tomorrow
三菱ケミカルホールディングスグループ
田辺三菱製薬

この手で、
未来を。

感じる 描く 動かす
創る 育てる 届ける
そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。
www.mt-pharma.co.jp

小野薬品工業株式会社

がんと診断されたすべてのがんサバイバーを応援するために新しいラジオ番組「Changeの瞬間（とき）～がんサバイバーストーリー～」をスタートしました。

元SKE48でタレントの矢方美紀さん（乳がん）やタレントの山田邦子さん（乳がん）、落語家の林家木久扇さん（胃がん、喉頭がん）など、各方面で活躍しているがんを乗り越えたゲストのみなさんをお迎えし、どんな気持ちでがんと向き合い、どんなきっかけで前向きになれたのかなどをお聞きしていきます。

がんサバイバーから生き方を学び、一緒にがんを乗り越えていく番組です。

番組内容は、放送後もABCラジオのホームページで動画配信されます。

がんと診断されたすべてのがんサバイバーに
そのときから始まる
未来物語をあなたに。

Changeの瞬間（とき）
（チェンジ）
～がんサバイバーストーリー～

ABCラジオ：日曜あさ8:10～8:25
TBSラジオ：日曜あさ9:45～10:00

パーソナリティ
ラリーアナウンサー
八木 早希
ABC Radio AM1008 FM93.3

小野薬品 ｜がんサバイバープロジェクト｜ 公益財団法人 日本対がん協会
がんサバイバープロジェクトはがん患者と家族のクオリティオブライフを支援する共同プロジェクトです

製薬企業の啓発活動

正確な情報発信 進化する治療薬

世界での新型コロナウイルス（COVID―19）感染拡大が始まって約半年が経過し、社会は大きく変化した。日常における対策は、正確な情報をいかに活用するかが対策の効果を左右する。こうした中、企業は医学的知見を生かし、新型コロナの情報発信の取り組みを始めた。一方、新型コロナが広がる中でも生活習慣病の治療は継続される。日本人患者の病態に合わせた薬が登場するなど、新型コロナ禍においても治療薬は進化し続ける。

新型コロナの最新情報

MSD、ポータル開設

MSDは5月、医療情報を提供するオンライン医学事典「MSDマニュアル」のページに、新型コロナウイルスの情報を提供するポータルページを開設した。新型コロナのウイルス情報や感染症としてのCOVID―19について、信頼性が高い最新情報を得ることができる。MSDマニュアルは医療従事者向けの「プロフェッショナル版」と、患者や一般の人を対象とした「家庭版」に分かれている。どちらも専門家によって作成されているのが特徴だ。新型コロナのポータルページは、米国の専門家を中心とした編集員が情報を発信する。

プロフェッショナル版では、疾患やウイルスに関して明らかになってきた情報をまとめて共有する。開設後のアクセス状況について、MSDの大村雅之氏は「コロナウイルスや、重症急性呼吸器症候群（SARS）や中東呼吸器症候群（MERS）といった急性呼吸器症候群に関するページへのアクセスが増えている」と話す。

一方の家庭版はプロフェッショナル版と同等の内容を、一般の人にも分かりやすい表現に変えて情報を公開している。新型コロナ感染症の検査や治療といった医学的な記事に加えて、国内の政策や海外の規制状況、世界保健機関（WHO）からの情報など、幅広いトピックスをまとめて掲載している。症状や予防法に関するよくある質問など、プロフェッショナル版と比較して、生活に密接した情報をまとめているという特徴がある。

MSDマニュアルはほぼすべての疾患領域の症状や診断、治療を網羅する。日本でのアクセス数は月に600万以上にのぼる医学情報プラットフォームだ。診療に必要な計算ツールや、臓器の構造・機能が分かる三次元（3D）モデルを公開するなど、実用性の高いコンテンツの提供が支持される一因だ。

一方で家庭版は、患者やその家族が疾患について正しい知識を得ることを目的としている。大村氏は「100を超える症状について掲載している。患者と医師の知識のギャップを埋めることで、患者にとってよりよい治療法の決定につながる」と話す。

MSDマニュアルは信頼性の高さから多くの人が閲覧し、活用している。新型コロナに焦点を当てたコンテンツを提供することで、医療と健康への貢献が期待される。

糖尿病薬〝日本人向け〟

サノフィが新配合剤発売

新型コロナの流行下でも、生活習慣病の治療は欠かすことができない。世界的にも患者数が多い糖尿病は、治療法も多様化している。サノフィは2型糖尿病治療薬として、「ソリクア配合注ソロスター」（一般名インスリン グラルギン／リキシセナチド）を6月に発売した。ソリクアは基礎インスリン製剤「インスリン グラルギン」と、GLP―1受容体作動薬「リキシセナチド」が配合された糖尿病治療薬で、空腹時の血糖と食後血糖をコントロールする効果がある。

ソリクアの特徴は日本人の2型糖尿病に合わせた配合になっている点だ。海外ではインスリン グラルギンが3単位に対してリキシナチドが1㎎、または2単位に対して1㎎の配合なのに対し、日本ではグラルギン1単位に対してリキシナチドが1㎎となっている。

理由は日本人に多い「隠れ高血糖」という病態だ。隠れ高血糖とは治療によって空腹時血糖を目標値まで下げても、食後血糖が高いままの患者を指す。日本の糖尿病患者のうち、3割以上が隠れ高血糖とされ、日本の2型高血糖患者の特徴となっている。

日本人の場合、血糖を下げる「インスリン」の分泌が欧米人と比較して多くない。また、糖尿病と診断される前の血糖が高い状態を「境界型糖尿病」と呼ばれるが、日本人は境界型糖尿病のときからインスリン分泌能の低下が見られるようになる。また同時に、糖尿病治療の指標の一つ「HbA1c」が上昇することで、食後高血糖も大きく増加するといった特徴がある。横浜市立大学大学院の寺内康夫教授は「日本人の2型糖尿病の特色は欧米人とは異なる。隠れ高血糖は空腹時と食後血糖、両方に注目すべきだ」と話す。

ソリクアに配合されるインスリン グラルギンは、1日を通じてインスリンを維持することで主に空腹時血糖をコントロールする。一方で、リキシセナチドは食後血糖を制御する。ソリクアはリキシナチドの配合比率を高めることで、日本人で特に改善が必要な食後血糖のコントロールが可能となる。

日本人患者を対象に行った第3相臨床試験では、ソリクア1日1回の投与で空腹時血糖値と食後血糖値が改善し、HbA1cも低下した。

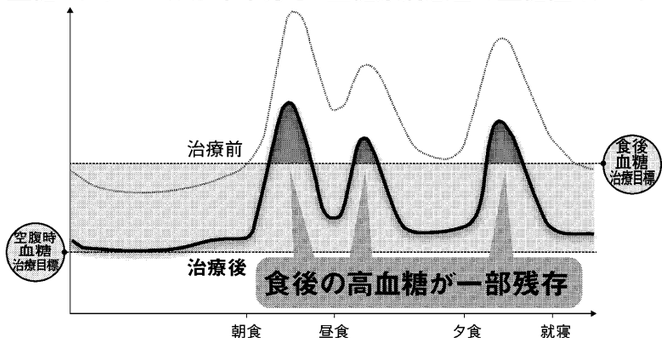
臨床試験の結果について、寺内教授は「インスリンで空腹時血糖を下げ、食後血糖はリキセナチドで下げることが、HbA1cの改善につながった」と説明する。

日本には糖尿病が強く疑われる人が約1000万人、糖尿病の可能性が否定できない人も約1000万人いると推定されている。糖尿病が進行すると、血管や神経に合併症を生じることもある。長期的な治療が必要となるため、患者の生活の質を保ちながら治療を継続することが重要だ。治療選択肢が増えることが、糖尿病患者の健康と生活の質向上につながる。

サノフィが発売した2型糖尿病治療薬「ソリクア配合注ソロスター」

専門家によって作成された医学事典「MSDマニュアル」信頼性高い情報を発信する

血糖コントロールが不十分な2型糖尿病患者の血糖値イメージ



隠れ高血糖とは食後の高血糖が一部残存しHbA1cが目標値に達していない状態を指す（横浜市立大学大学院・寺内康夫教授 提供）

協和キリン株式会社

たった一度の、いのちと歩く。

人を、想う。
いのちを、想う。
いくつもの想いは、
やがて大きな〝つばさ〟をもって、
風をとらえ飛び立つ。
かけがえのないいのちに寄りそいながら、
協和キリンは、
次なるステージへ飛躍します。

Kyowa KIRIN